

# 調査委員会報告

**2017.7.24**

**調査委員会**

**委員長 武田 芳郎**

- I . 調査委員会の今年度の活動**
- II . 売上高統計調査報告**
- III . 導入調査について**
- IV . 市場規模予測調査研究について**
- V . 今後の取り組み**

- I. 調査委員会の今年度の活動**
- II. 売上高統計調査報告
- III. 導入調査について
- IV. 市場規模予測調査研究について
- V. 今後の取り組み

## ■調査委員会 2016年度 活動報告

- (1) 継続している**売上高調査**は、2016年度分について計画通りとりまとめを行った。昨年に引き続き、回答率向上のための入力ガイドを整備、2016年度下期調査より、使用を開始した。
- (2) 月刊新医療による**電子カルテ等導入調査に協力**し、その結果は「月刊新医療」等に掲載された。
- (3) 新医療の導入調査にJAHIS独自調査結果を加え、「オーダリング、電子カルテ導入調査報告書」をとりまとめ、「2016年(H28年)調査版」を2017年3月に発行した。
- (4) 新たな調査の検討を実施したが、検討の結果必要性が低いと判断し、予定していた調査は着手しないこととした。

## ■調査委員会 2017年度 事業計画

調査委員会を中心に既存調査、新たな調査等の検討を継続して実施する。既存調査の「売上高調査」、「新医療への導入調査への協力」は従来通りに進めていく。

「売上高調査」を2017年6月に2016年度年間分、2017年12月に2017年上期分、「オーダリング、電子カルテ導入調査報告書」を2018年3月に発行する。また市場動向を踏まえ、調査項目の見直しの必要性の検討を開始する。

「市場規模予測」について、昨年度より予測に着手し、2018年1月に発行予定。

新たな調査について、現時点では確定しているものはないが、今後各部会や委員会からの要望が発生したタイミングで検討を進めていく。

## ◆ 調査委員会メンバー紹介

役割	氏名	会社名
委員長	武田 芳郎	東芝メディカルシステムズ(株)
副委員長	岩村 浩正	富士通(株)
戦略企画部長	森本 正幸	富士通(株)
運営幹事	小林 俊夫	日本アイ・ビー・エム(株)
運営幹事	高橋 俊哉	富士通(株)
運営幹事	松尾 仁司	(株)日立製作所
運営幹事	八木 春行	東芝メディカルシステムズ(株)
委員	犬飼 哲一	(株)NTTデータ
委員	加治木 孝一	日本電気(株)
委員	谷 陽平	(株)日立製作所
委員	得能 稔	パナソニック ヘルスケア(株)
委員	長谷川 稔洋	富士通(株)
事務局	岩本 和則	JAHIS 事務局

(2017年7月10日時点 役割、氏名50音順)

- I. 調査委員会の今年度の活動
- II. 売上高統計調査報告**
- III. 導入調査について
- IV. 市場規模予測調査研究について
- V. 今後の取り組み

### 1. 調査概要

売上高調査は、JAHISの定款に定められた「工業統計の整備」事業の一環として、市場状況を把握することを目的に、1994年の創立以実施。半期毎のデータを年間で集計。

2004年度より、時代性の変化への対応等のため調査項目の一部を改変し、現在に至る(病院と診療所、医科と歯科の分離など)。

2007年より、従来のFDよりWeb入力に変更し、匿名性を確保した収集を実施している。

平均して、会員企業の約90%が入力している。

その後の医療を取り巻く環境の変化に対応のため、2014年度上期分調査より新たな調査項目にて調査開始

※「売上高」とはエンドユーザに直接販売した、直接売上高を指す

### 2. 売上高状況

◆2016年度年間売上高調査結果(6/21時点速報未確定版)

1. 調査期間(データ入力期間):

2016年10月～12月

2017年 4月～ 6月

2. 対象会員会社数:上期375社、下期366社

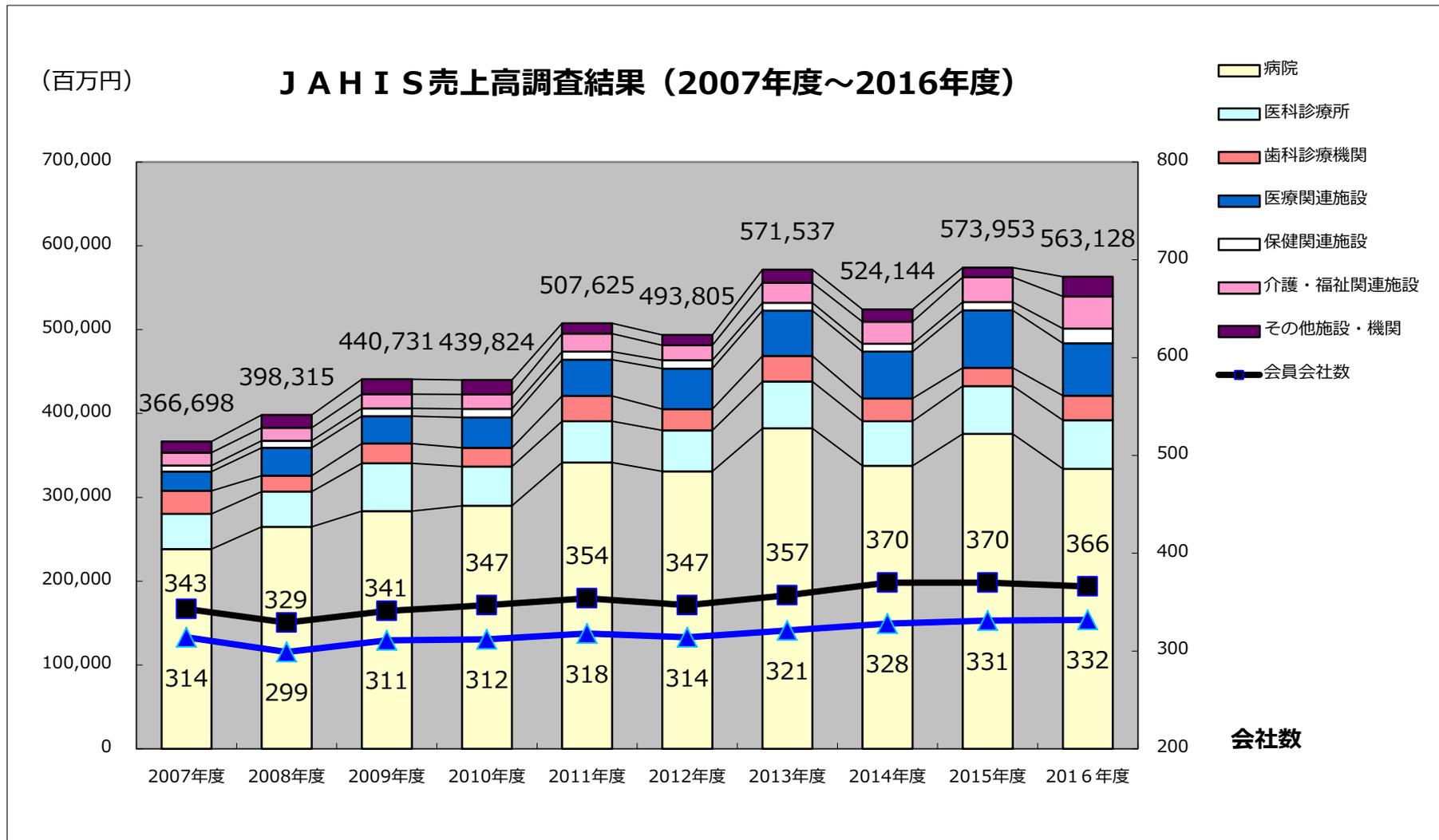
3. 回答状況

①回答会社:上期341社(91%)、下期328社(91%)

②未回答会社:上期34社、下期34社

年度(上期)	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
対象社	347	357	370	370	366
回収	314	321	328	317	332
回収率	91%	90%	89%	90%	91%

## ◆ 売上高調査結果



## ◆調査結果より

- 2011年度は2008年度の中期計画の数値目標「JAHIS会員市場規模5,000億円以上」を達成。
- 2012年度は、前年度と比べ138億円の減少で、4,938億円（前年比3%減）となった。
- 2013年度は、前年度と比べ777億円の増加で、5,715億円（前年比15.7%増）となった。
- 2014年度は、前年度と比べ474億円の減少で、5,241億円（前年比8.3%減）となった。
- 2015年度は、前年度と比べ498億円の増加で、5,739億円（前年比9.5%増）となった。
- 2016年度は、前年度と比べ108億円の減少で、5,631億円（前年比1.8%減）となった。

- I. 調査委員会の今年度の活動
- II. 売上高統計調査報告
- III. 導入調査について**
- IV. 市場規模予測調査研究について
- V. 今後の取り組み

### ◆調査状況

月刊新医療により1994年から調査を実施  
2004年から、JAHISにて調査協力

### ◆2016年度の対応

調査は完了(2016年4月～5月)

掲載予定

「月刊新医療」7月号～10月号

「医療機器システム白書2017」

新医療の導入調査にJAHIS独自調査結果を加え、「オーダリング、電子カルテ導入調査報告書」をとりまとめ、「2016年(H28年)調査版」を2017年3月に発行した。

- I. 調査委員会の今年度の活動
- II. 売上高統計調査報告
- III. 導入調査について
- IV. 市場規模予測調査研究について**
- V. 今後の取り組み

## 1. 調査概要

### ◆ 目的／発行状況

- ▶ 保健医療福祉分野における適正なITのあり方について、国民や行政機関から深い理解を得るだけでなく、会員企業のビジネス戦略策定にも資することを目的とする。
- ▶ 2009年度版(2009/9発行)、2011年度版(2011/11発行)、2014年度版(2015/1発行)。

### ◆ 予測方法

- ▶ ①売上高調査、②月刊「新医療」との共催による病院情報システム導入状況調査、③JAHIS内各部門が独自に実施した調査結果、などを集約。
- ▶ 今後数年間にわたる保健医療福祉情報システム全体の市場規模(売上高)を予測。

## ◆対応方針

- ▶ コンプライアンスを遵守し、独占禁止法、不正競争防止法等の疑義を招かない調査とする。2018年1月に発行予定。

## ◆対応方法

- ▶ 調査方式は従来方式を継承
- ▶ 調査委員会としては調査プロセスを確定し、実際の調査は第三者機関(株式会社アイブレイン)に委託
- ▶ 調査はアンケート形式にて行い、概括的な数値のみJAHISへ開示(アンケート結果の開示はしない)
- ▶ 調査プロセスに問題がないか公正取引委員会に確認済、完成した冊子も送付し特に指摘事項なし

- I. 調査委員会の今年度の活動
- II. 売上高統計調査報告
- III. 導入調査について
- IV. 市場規模予測調査研究について
- V. 今後の取り組み**

以下の調査を継続して進めていきます。ご支援、ご協力を  
どうぞよろしくお願いいたします。

### <定常的な調査>

売上高統計調査

導入状況調査(新医療への調査協力)

市場規模予測調査(3年毎に実施予定)

### <新規調査検討>

■ 検討中調査項目

**※新規調査項目のご要望がありましたら、ご遠慮なく  
調査委員会までご連絡ください。**

ご清聴ありがとうございます。

今後、調査委員会の活動に  
ご支援・ご協力を  
よろしくお願い申し上げます。